

# とうきよの教育

第101号  
小学校版  
平成26年1月



東京都教育委員会

ホームページ <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>

東京都教育委員会(教育庁)では、都民のみなさまからの提言やご意見・ご要望をメールで受け付けておりますので、お寄せください。

## できないこと、わからないことをそのままにいませんか？

平成25年4月24日、文部科学省が小学校6年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」(国語・算数の2教科と、生活習慣や学習環境等についての調査)を実施しました。調査の結果から、東京の子供たちは2教科とも、全都道府県中で上位3割以内のグループに位置していることが分かりました。

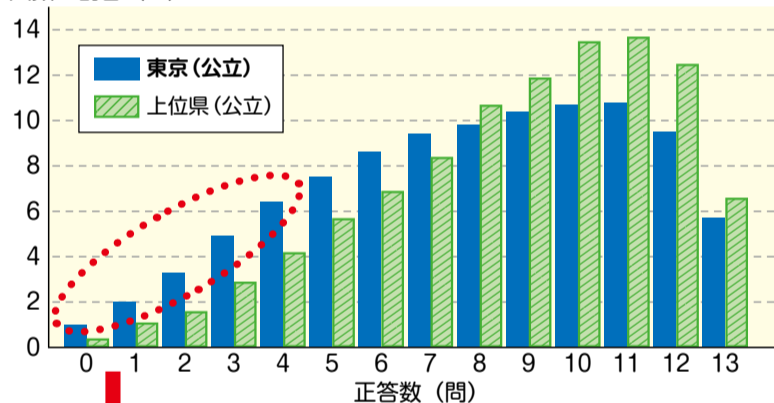
一方で…

東京の子供たちの課題も明らかになっています。

間違えた問題をやり直し、「できない」「わからない」を解消することが大切です。

### ◆東京より成績上位のある県と比較すると…

●算数B(基礎・基本を活用する力をみる問題)の結果から  
人数の割合(%)



正答数(全13問中何問正解していたか)ごとの児童の割合を示したグラフです。

成績上位の他の県と比べると、東京は下位層の児童(正答数が少ない児童)の割合が多いことがわかります。

●児童・生徒質問紙調査(アンケート)結果から  
「家で、テストで間違えた問題について勉強していますか」

	小 6		東京の2教科の正答率(平均)
	上位県	東京	
している	38.8%	23.1%	⇒ 71.1%
どちらかといえば、している	38.4%	28.9%	⇒ 65.4%
あまりしていない	18.1%	29.9%	⇒ 61.6%
全くしていない	4.7%	17.7%	⇒ 57.6%

※無回答を除く

「している」と回答した東京の児童の国語・算数合計の正答率は71.1%、「全くしていない」と回答した児童の正答率は57.6%となっています。

東京は、復習をしている児童が、成績上位の他の県に比べて少ないことがわかります。また、復習せずに間違えた問題を分からないままにしている児童ほど、教科の正答率が低い傾向が見られます。

その学年で学習する内容を十分に理解しないまま進級したために、次の学年での学習に支障をきたしている児童が多くいます。



東京都教育委員会は、「できる」「わかる」ようにする指導を徹底していきます。

●みんな満点プロジェクトとは  
教科書の例題にあるような、各教科の基本となる問題について、義務教育修了までに東京都の全ての子供が「できる」「わかる」ようにするための取組です。

#### ◆学習内容をどの程度身に付けているかを把握

都独自の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」を実施し、よりきめ細かく子供たちの課題を明らかにするとともに、学校が取り組むべき課題を示して授業改善を図ります。

#### ◆分からないところに立ち戻る指導の徹底

分からなくなったところまで立ち戻って、丁寧に教える指導の徹底を図り、「やればできる」という自信と意欲を、全ての子供にもたせます。

#### ◆効果的な指導方法や教材の開発を推進

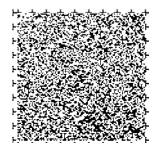
小学校4年生までの基礎的・基本的な内容を繰り返し学習できる都独自の教材「東京ベーシック・ドリル」を作成します。また、子供たちの習熟の程度に応じた習熟度別指導を推進します。

次のページで、学校における「できる」「わかる」ようにする指導について、ご紹介します。



こちらの音声コードで、このパンフレットの内容を音声で聞くことができます。

この印刷物には、視覚に障害のある方への情報提供の手段として、音声コードを添付しています。音声コードは、活字文書読上げ装置で読み上げることができます。



# 学校では



例えば、かけ算ができなければ、四角形の面積を求めることはできません。四角形の面積が求められなければ、立方体の体積は求められません。

基礎・基本を着実に身に付けさせることが必要です。

- そのために…
- ◆ 習熟の程度に応じた習熟度別指導
  - ◆ 学年を超えて分からない箇所に立ち戻る指導
  - ◆ 「できる」「わかる」まで繰り返し指導
- を徹底します。

## 例… 算数 「単位量当たりの大きさ」の問題

A (6㎡) とB (5㎡) の2つのシートがあります。  
下の表は、シートの上にすわっている人数とシートの面積を表しています。

	人数 (人)	面積 (㎡)
A	12	6
B	8	5

どちらのシートの方がこんでいるかを調べるために、下の計算をしました。

A  $12 \div 6 = 2$                       B  $8 \div 5 = 1.6$

この計算からどのようなことがわかりますか。次の1から4までのの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 1㎡あたりの人数は2人と1.6人なので、Aの方がこんでいる。
- 2 1㎡あたりの人数は2人と1.6人なので、Bの方がこんでいる。
- 3 1人あたりの面積は2㎡と1.6㎡なので、Aの方がこんでいる。
- 4 1人あたりの面積は2㎡と1.6㎡なので、Bの方がこんでいる。

正答 **1**

正しく回答した児童は50.2%でした。

4と回答した児童が18.7%いました。

## 式の意味、説明できますか？

このような問題が「できる」「わかる」ためには、式の意味（アメ12個を6人で分けるから「 $12 \div 6$ 」）や、式から何を導き出しているのか（ $12 \div 6 = 2$ の「2」は「一人当たりのアメの個数」の「2個」）を理解していることが必要です。

### 立ち戻る指導

どこでつまずいているのかを確かめ、時には前の学年の内容にまで戻り、正答へと導きます。

「A  $12 \div 6 = 2$ 」という式で何を求めているか分かりますか？

2㎡で…、シートの大きさですか？

式の意味が分かっていないようだ。

では、この式を「言葉の式」で言ってみましょう。

計算式の数字を、表の言葉に置きかえればいいのかな…

人数÷面積…ですか？

自信がなさそうだ。そもそも、わり算の意味が分かっていないのかもしれない。

そうですね。わり算はどのような場合に用いられていたか、覚えていますか？

- 「全体をいくつに分けられるか」を導き出す場合（12個のアメを6人で分ける。）
- 「全体の中にいくつ含まれるか」を導き出す場合（12個のアメを6個ずつ袋に入れる。）の2つでしたね。

つまずきの原因となっている箇所（「わり算の意味」が分かっていなかったこと）が分かりました。  
⇒ 小学校3年生の学習まで戻って、丁寧に教えます。

12個のアメ÷6人＝一人当たりのアメの個数  
12個のアメを6人で分けると、一人当たりのアメの個数が求められるから…

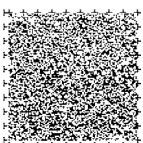
シートの上にすわっている人数÷シートの面積  
ということは、1㎡あたりの人数が求められるのかな。

そうか！  
1㎡あたりの人数が多い方が、「混んでいる」ということなんだ！

## 家庭では

「今日、学校でどんなことを習った？」「面白そうだね、くわしく教えてくれる？」などと、お子さんとさり気なく話をしてみてください。お子さんは、会話をきっかけに、その日の授業を頭の中で思い出したり、ノートを見直したりすることができます。これだけでも、復習の習慣をつける手助けになります。

「どう教えたらよいか分からない」「子供は分かったと言っているが、似たような問題で間違える」など、家庭学習をする上で困った時には、ぜひ先生に相談してください。



# ～学校からいじめをなくすために～

いじめは、いじめを受けた子供の心に長く深い傷を残すものであり、どの学校にもどの学級にも起こり得るものであるという認識の下、学校は、未然防止に努め、いじめを発見した場合には速やかに対応する必要があります。東京都教育委員会では、平成24年10月に「いじめに関する専門家会議」を設置、検討を重ね、平成25年11月に検討結果を公表しました。その中でいじめ問題の対応に当たって念頭に置くこととして、次の四つのポイントを示しました。

## 教員の指導力の向上と組織的対応

- いじめ問題に組織的に対応するための「学校いじめ対策委員会」の全校設置
- 「いじめ発見のチェックシート」の活用による確実な発見
- いじめに関する研修の充実 など

## 子供からの声を確実に受け止め、子供を守り通す

- 子供が学校にいじめの相談をしやすくする「学校いじめ相談メール」等の実施
- スクールカウンセラーによる全員面接
- いじめ実態調査等の実施 など

## いじめを見て見ぬふりせず、声を上げられる学校づくり

- 「いじめに関する授業」の実施
- いじめに対する具体的な行動の取り方などを記載した「いじめ防止カード」の活用
- いじめの撲滅に向けた児童会・生徒会による主体的な取組への支援 など

## 保護者・地域・関係機関との連携

- スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問を通じた家庭状況の把握とケア
- 学校便りや保護者会の積極的な活用
- 地域人材を活用した登下校時の見守りの実施 など

報告書の全文を東京都教育委員会のホームページに掲載していますので、ご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr131128c.htm>

東京都は、いじめ防止のための条例を制定していくとともに、都民の皆さまのパブリックコメントをいただきながら、東京都いじめ防止等に関する基本方針、いじめの総合対策（「いじめに関する専門家会議」の検討結果を基に策定）を策定します。

# 体罰を根絶するための対策を推進していきます！

東京都教育委員会は、体罰根絶に向けて検討を重ね、平成25年9月に、体罰を根絶するための総合的な対策について検討結果をまとめました。その内容を紹介します。



## ガイドラインを策定しました

どのような行為が体罰に当たるのかなどを、具体的に細かく示し、体罰と不適切な行為を「許されない行為」として明示しました。

行為の名称	具 体 例 < 抜 粋 >	
体 罰	骨折・鼓膜損傷等の傷害を負わせる、椅子を投げ当てる、突き飛ばす、頭・頬をたたく、長時間正座をさせる 等	
不適切な行為	不適切な指導	手をはたく（しっぺ）、おでこを弾く（デコピン）、小突く、胸倉をつかんで説教する 等
	暴言等	罵る、脅かす、人格（身体・能力・性格・風貌等）を否定する、集中的に批判する 等
	行き過ぎた指導	生徒が心身ともに疲労して勉強する時間がなくなるほど休みなく練習を続けさせる、経験したことのない長時間の練習メニューを課す 等
適切な指導	腕をつかんで連れて行く、体をつかんで軽く揺する、短時間正座させて説諭する、緩慢なプレーや危険な行為を大声で注意する、殴りかかってきた生徒をかわすために押す、校舎から飛び降りようとする生徒を引き倒す 等	

総合的な対策の詳細については、東京都教育委員会のホームページをご覧ください。

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/press/pr130912e.htm>

※ガイドラインは第2章の5に出ています。

## 体罰を根絶するための総合的な対策

教員の意識を改革し、児童・生徒、保護者、地域関係者と共に、体罰を「しない、させない、許さない」という学校風土を作るための方向性を示しました。

(抜粋)

### 体罰防止に関する教員研修の徹底

- 知識理解型から、実践的・体験的な研修への転換（言葉による指導、意欲を高める指導等）
- 全校で全教職員に対し、年度初めに体罰禁止を徹底

### 体罰をチェックする機能の強化

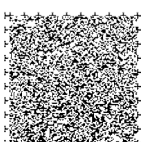
- 体罰調査の継続実施（教師への聞き取りや児童・生徒への質問紙調査を基本に実施）
- 子どもの声が届く相談機能の充実（教育相談センター等相談機関の周知、公益通報弁護士窓口、スクールカウンセラーなどによる相談体制の整備等）

### 体罰を容認する風土を刷新するための取組

- 体罰根絶の考え方の周知徹底（職員会議・保護者会などあらゆる機会を利用）
- 保護者等への学校公開や授業参観の一層の推進

### 体罰のない部活動の推進

- Good Coach賞の創設（生徒の意欲を高める指導をしている顧問を顕彰）
- 部活動の顧問などに対する指導者講習会の実施





### 学力向上を目指して

東京都教育委員会委員長 木村 孟

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

東京都教育委員会は、第3次東京都教育ビジョンの重要な項目として子供たちの学力の向上を掲げ、様々な施策を打ち出し、これを実行しております。昨年は4年振りに国による悉皆の「全国学力・学習状況調査」が実施され、8月27日にその結果が、文部科学省から発表されました。

それによりますと、小学校については、前回の悉皆調査である平成21年度の調査結果と同じく、国語A、B、算数A、Bいずれにおいても、東京都の子供たちの成績は、全国平均を上回っています。

一方、中学校については、平成21年度の調査では、全国平均が、国語A 77.0点、国語B 74.5点、数学A 62.7点、数学B 56.9点であったのに対し、東京都は、それぞれ、77.0点、73.8点、62.6点、56.8点と、国語A以外の3科目で、全国平均以下となっていました。ところが、今年の調査では、東京都は全てにおいて全国平均を上回りました。

なぜ、このような結果が出たのかを明らかにするため、現在詳細な分析を行っているところですが、一言で言えば、ここ数年東京都教育委員会が推進してきた様々な施策が、統合的効果を上げ始めたためではないかということです。例えば、中学校を対象とする質問紙調査では、「習熟度に合わせた教材を用いている学校」や「放課後を利用した補充的な学習サポートを実施している学校」の割合が、平成21年度の調査と比較

して増加していることが、明らかになっています。

しかし、いまだ問題は残っています。例えば、東京都の中学生に対する調査結果ですが、「家で、テストで間違えた問題について勉強していますか」という問いに対し、「している」と答えた生徒の正答率は71.4%、「全くしていない」と答えた生徒の正答率は58.2%と、大きな差が出ています。要は、復習がいかに重要かということです。ちなみに、上記の質問に対して、成績上位県の生徒で「している」と答えた生徒の割合は24.4%であるのに対し、東京都では10.3%、「全くしていない」と答えた割合は、成績上位県6.6%に対し、東京都24.9%となっています。この状況が、例えば、数学Bの全16問のうち何問正解したのか、その人数の割合を示したグラフに如実に現れています。成績上位県では、分布がかなり正規分布に近くなっていますが、東京都の場合には、正答数の少ない側が高くなった歪んだ分布となっています。成績上位県では、16問中、正答数7、8問の子供たちの割合が9%近くで最も高くなっていますが、東京都では、正答数2～4問のところが高くて7.5%に達しています。つまり、東京都は、成績上位県に比べて下位層が多いということが明らかになっているのです。

東京都教育委員会では、このような調査結果を踏まえ、子供たちが基礎的な学力を確実に習得できるよう、個々の学習状況に応じて前の学年に立ち戻る指導を徹底するなど、効果的な習熟度別指導を全般的に展開するため、小学校における指導体制の充実を図ります。

学力向上については、やっとその第一歩を踏み出したばかりです。この大きなゴールに向けて、皆様の特段のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 教育委員会の動き ～平成25年5月から11月までの活動について～

### ① 教育委員会の開催状況

平成25年5月から11月までに、第9回から第19回までの11回の定例会を開催し、57件の議案と36件の報告について、審議等を行いました。その中から主なものを紹介します。

#### <議案>

- 平成26年度東京都立高等学校入学選抜における推薦に基づく選抜の実施方針について
- 平成25年度東京都教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価（平成24年度分）について
- 平成26年度東京都立高等学校等の第一学年生徒の募集人員等について

#### <報告>

- 平成25年度アスリートの学校派遣事業～夢と未来を結ぶ「一日校長先生」～の実施について
- 学校におけるアレルギー疾患対策について
- 体罰根絶に向けた総合的な対策について（部活動指導等の在り方検討委員会報告書）
- 平成25年度採用前実践的指導力養成講座について
- 高校生書評大会戦首都大会2013について
- いじめ問題への対応について
- 平成25年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都独自の調査）の結果について

### ② その他の活動

- 都立学校の周年行事に出席しました。
  - 調布高等学校（木村委員長）
  - 雪谷高等学校（比留間教育長）
- 都立学校の校舎落成記念式典に出席しました。
  - 三鷹高等学校・三鷹中等教育学校（竹花委員）
- 「東京都教育の日」推進事業の視察を行いました。
  - 小金井市立小金井第一小学校（木村委員長・竹花委員）
  - 港区立港南小学校（山口委員）
- 東京都教職員研修センターで開催した夏季集中講座において、講演「体罰に頼らないスポーツ指導」を行いました。（山口委員）



10月11日 調布高等学校



9月28日 三鷹高等学校・三鷹中等教育学校



8月9日 夏季集中講座講演

教育委員会は、原則として毎月第2・第4木曜日に開催しています。開催状況・会議録は東京都教育委員会ホームページに掲載しています。

## 話してみよう あなたの心配 東京都教育相談センターのご案内

### ●教育相談一般●

03 (3360) 8008

子育ての悩みや不安、いじめ、不登校など  
平日：午前9時から午後9時まで  
土日祝日：午前9時から午後5時まで

※上記時間以外は留守番電話及び電子メールによる対応をしています。（年末年始を除く）

### ●外国人児童・生徒相談●

中国語、英語、韓国・朝鮮語の通訳対応  
毎週金曜日：午後1時から午後5時まで  
（受付は午後4時まで）

### ●東京都いじめ相談ホットライン●

03 (5331) 8288 <24時間受付>

いじめに悩む子供本人や保護者等からの相談に24時間体制で応じています。

### ●メール相談●

ホームページ <http://www.e-sodan.metro.tokyo.jp>

※ホームページからご利用ください。

### 東京都教育相談センター

〒169-0074 東京都新宿区北新宿四丁目6番1号  
（東京都子供家庭総合センター4階）  
電話：03(3360)4172（代表）ファクシミリ：03(3360)4198



## 暮らしを見つめる! 統計調査

国民の暮らしを見つめ、よりよい社会を実現するために、総務省統計局では、さまざまな統計調査を定期的に行っています。

<p><b>労働力調査</b> 毎月実施</p> <p>安定した「雇用」にも役立っているんだね!</p> <p>就業状況や完全失業率など「雇用」を明らかにする調査で景気判断や雇用対策の立案に役立っています。</p>	<p><b>家計調査</b> 毎月実施</p> <p>毎月の「家計収支」がわかるのね!</p> <p>世帯の収入や支出など「家計収支」を明らかにする調査で景気動向の分析などに役立っています。</p>
<p><b>小売物価統計調査</b> 毎月実施</p> <p>日本の「物価」が明らかになるのね!</p> <p>小売価格など「物価」を明らかにする調査で消費者物価指数(CPI)、その他物価に関する基礎資料の作成に役立っています。</p>	<p><b>個人企業経済調査</b> 四半期ごとに実施</p> <p>「景気」を知るにはとても重要なだね!</p> <p>個人経営の事業所の「景気」を明らかにする調査でGDP(国内総生産)の推計資料などに役立っています。</p>

調査結果はさまざまな場面で活用され、わたしたちの暮らしを支えています。

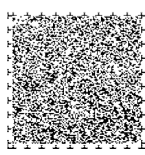
- 🔒 皆様の個人情報には厳重に保護されます
- ⚠️ 統計調査を装った「かたり調査」にご注意ください

統計調査員がお伺いいたします。ご協力をお願いします。  
総務省統計局・東京都 <http://www.toukei.metro.tokyo.jp/> 統計調査 検索

## <公益通報弁護士窓口>のご案内

- 都内公立学校の教職員が職務上行った、法令違反等の不適切な行為（体罰、横領、セクシュアル・ハラスメントなど）について、都内公立学校に通う児童・生徒、保護者の方が通報できます。
- 通報は、FAX、メールで受け付けます。東京都教育委員会のホームページに掲載された通報専用書式をご使用ください。

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/soumu/tsuho/tsuho.htm>



ときょうの教育 第101号 平成26年1月発行  
○編集・発行 東京都教育庁総務部教育情報課 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号  
電話 03(5320)6733 ファクシミリ 03(5388)1726  
○デザイン・印刷 株式会社 イーパワー

## 違法(脱法)ドラッグの事件・事故が増えています



ダメされない! 近づかない!

あなたの人生を壊す危険な薬物です。正しい知識を身につけましょう!

Webサイト「みんなで知ろう違法(脱法)ドラッグ」をご覧ください。

[http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/no\\_drugs](http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/no_drugs)

福祉保健局健康安全部業務課 03-5320-4515

